

流浸工業が国内初取得

仏アルケマ社 A C A 認証

樹脂コーティング評価

金属材料樹脂コーティング大手の流浸工業（本社＝大阪府堺市、大久保秀俊社長）はこのほど、ナイロン11樹脂製造メーカーの仏アルケマ社が独自認証として行っているACA（アブルブド・コーティング・アプリケーション）認証を国内で初めて取得した。この認証はナイロン11樹脂に対し正しい知識を持ち、営業活動できているかなどの調査を行い、基準評価点以上を獲得した企業に付与される独自規格。世界で27社あり、国内では流浸工業が初めての認証企業となった。また無接点で

コーティングする方法（ミニコート法）における認証企業もアジアでは同社が初めて。流浸工業は1963年に大久保産業として西ドイツからコーティングの流動浸漬法を国

内で最初に技術導入した。75年にナイロン11樹脂の取り扱いを始め、パネルタンク部材やナイロンコーティング鋼管などでの使用を開始した。

奈良工場では樹脂の

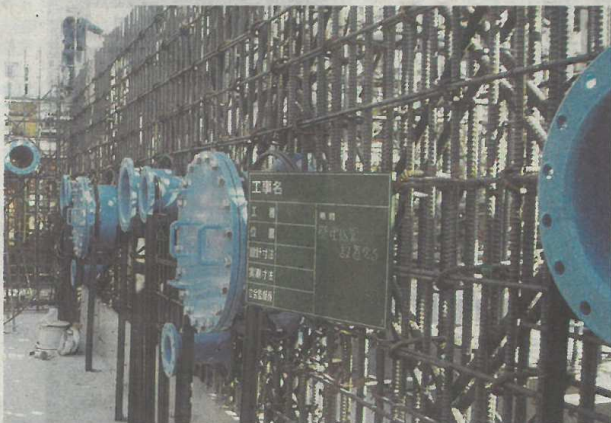
粉体加工を行っており、ナイロン樹脂などに抗菌・抗ウイルス剤の添加も可能なため、オリジナル樹脂の開発ができるところも同社の強みとなっている。

現在ではオリジナル樹脂である流動浸漬用塩ビを鋼管にコーティングした「リニューコー

トシリーズ」などを手掛け、幅広い分野でコーティングを用いた技術を提供している。



アルケマ認証証明書



浄水場でのナイロンコーティング鋼管